

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	大分の地域ブランド創造体験（Regional Branding for Engaging in Oita）		
ナンバリングコード	B20317	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A032751	クラス名	-
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、 履修条件	原則として、課題解決型授業の受講経験があることを履修条件とします（「おおいた地域連携プラットフォーム」で実施する「ジェネリックスキル養成1」「ジェネリックスキル養成2」「初年次地域キャリアデザインワークショップ（大分大学科目）」を推奨）。1泊2日×2回の宿泊型で実施します（2月下旬～3月上旬頃に実施予定）。実習合宿地は、佐伯市の予定です。送迎バスを運行します。食費は実費負担です。必要なものについては、別途指示します。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	ジェネリックスキル養成1・2、初年次地域キャリアデザインワークショップ（大分大学単位互換科目）		

○基本情報		
授業の目的	農山漁村や中山間地域における特産品の6次産業化※とそのブランド化は、持続可能で活力ある大分県を実現する上で不可欠です。本授業では、こうした問題を解決し「地方創生」できる人材を育成する足掛かりとして、地域ブランドを掘り起こすための力と企画力の育成を目的とします。	
授業の概要	本科目は、おおいた地域連携プラットフォームの「大分を創る人材を育成する科目」として、大分県内の行政機関や企業から提示されたテーマに対して異校種、異なる学部学生から構成されるグループで、地域の関係者と共に、地域のデータやフィールド調査の情報などの事実を整理分析し、地域の魅力と地域が抱えている課題を指摘し、魅力を活かした課題解決方法を探るとともに、その解決のための方策を提案することをねらいとします。 本年度は、佐伯市役所等と連携し、佐伯市内の特定地域のブランド向上につながる製品の提案、情報発信策等について考える予定です（調整の結果変更になる場合があります）。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	カテゴリー I：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	他者と協働して活動を行い、テーマについての対応計画をまとめ、他者にわかりやすく提案することができる。		10%	20%
【ディプロマ・ポリシー②】	地域での活動を体験して情報収集・分析し、テーマに関する地域社会が直面する課題を明らかにすることができる。		10%	10%
【ディプロマ・ポリシー③】	①地域企業等が抱える課題を知り、地域資源を活かした商品開発を提案することができる。 ②地域が抱える課題を知り、地域資源を活かした柔軟性を保った活性化策の計画立案を行い、提案することができる。		30%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

・6次産業化・・・農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進することを指し、1次産業の1×2次産業の2×3次産業の3のかけ算の6を意味します。
・県内の大学・短大・高専の履修学生が合同で合宿研修を行いますので、目的意識を持って、主体的に臨んでください。

・難易度が高く科目の連続性を重視しているため、原則として、課題解決型授業の受講経験があることが必要です（「おおいた地域連携プラットフォーム」で実施する「ジェネリックスキル養成1」「ジェネリックスキル養成2」「初年次地域キャリアデザインワークショップ（大分大学科目）」のいずれかを単位修得済もしくは同時履修登録を推奨）。
・科目の特性及びチーム編成上、受入人数に上限があるため、1・2年生を優先的に受け入れます。なお、卒業判定に間に合わないため、今年度末に卒業予定の4年生は受講できません。
・おおいた地域連携プラットフォームの「おおいた共創士」認証科目です。授業内のワークショップ、プレゼン時に企業等のステークホルダーによる観察評価を行い、フィードバックを行います。詳細は下記を参照してください。
<https://oita-platform.org/kyousoushi/>
・過去の授業の様子は以下を参照してください。
<https://www.youtube.com/watch?v=dWa26gQ4QT4>
https://oita-platform.org/2024/03/15/20240315_event/

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	大分の地域ブランド創造体験（Regional Branding for Engaging 吉村 充功	授業コード	A032751
学修内容				
1. 合宿1回目初日:授業の目標に向かったのテーマ設定と授業展開づくり ①授業のねらいや訪問の際の心構えについて説明 ②授業実施のためのグループづくり ③アンケート、自己チェックシート実施				
予習 復習				
2. 地域体験活動1－1 ①ステークホルダーからの導入講義				
予習 復習				
3. 地域体験活動1－2 ①連携先を訪問し、概要や状況等のヒアリング				
予習 復習				
4. ワークショップ①(初日振り返り) ①体験して得られた気づきをまとめる、2日目の導入 ②ブランド化するストーリーの必要性の説明				
予習 復習				
5. 合宿1回目2日目:地域体験活動2－1 ①連携先を訪問し、概要や状況等のヒアリング				
予習 復習				
6. 地域体験活動2－2 ①連携先を訪問し、概要や状況等のヒアリング				
予習 復習				
7. ワークショップ②(2日目の振り返り) ①当該地域の魅力、課題をオンラインホワイトボードにまとめる ②ブランド化するストーリーの提案内容をオンラインホワイトボードに作成 ※ステークホルダーによる観察評価を実施予定				
予習 復習				
8. 中間発表①、2回目に向けてのガイダンス ①オンラインホワイトボードを使用して発表				
予習 復習				
個人でブランド化を構想しレポートにまとめ、指定期日までに提出。次回授業内で講評、フィードバックします。（約20.0h）				

○授業計画	科 目 名 担当教員	大分の地域ブランド創造体験（Regional Branding for Engaging 吉村 充功	授業コード	A032751
学修内容				
9. 合宿2回目初日:個人発表、統合プランの検討 ①1回目合宿のワークシートをグループ内で発表 ②総合プランをオンラインホワイトボードに整理 ※ステークホルダーによる観察評価を実施予定				
予習 復習				
10. 中間発表② ①総合プランを発表して、ステークホルダー等からの評価を受ける ※不足情報を認識し、必要に応じて班毎に再訪問先を決定				
予習 復習				
11. 地域体験活動3 ①班毎に情報収集する				
予習 復習				
12. ブランド化の企画書作成① ①学生視点からブランド化の提案を検討してパワーポイントに整理する				
予習 復習				
13. 合宿2回目2日目:ブランド化の企画書作成② ※前日のつづき				
予習 復習				
14. 最終成果発表と講評 ①パワーポイントを使って班ごとにブランド化等の提案 ※ステークホルダーによる発表評価を実施予定				
予習 復習				
15. 振り返り ①個人コメント発表 ②自己チェックシート ※ステークホルダーからのフィードバックを実施予定				
予習 復習				
16. 活動のふり返りをもとに今後にどのように活かしていくかの目標整理を行って下さい。（約14.0h）				
予習 復習				